

町名のみかげ石の「石橋」が公園のシンボルとなる。水と花の公園をテーマに町民の憩いと安らぎの場となっている。ホテルの里づくりをすすめ、水辺に親しむ環境づくりを工夫。



栃木県南部の石橋町は、その大部分が関東平野北部の平坦地で、町の中央部を南へ流れる姿川流域には沖積低地が開けて水田地帯となっている。

大松山運動公園は、町民のスポーツ・レクリエーション及び憩いと安らぎの場として、「水と花の公園」のテーマの下に整備がなされており、小川やサク

ラの丘といった公園的要素に富んだ自由度の高い空間とスポーツ施設をバランスよく配置するとともに、流れる水や花木により季節的変化をかもしている。

とくに、市街地からの下谷田用水路を整備して、木製のくずれ積み護岸、景石、植栽等によって水辺環境を整備するとともに、砂利敷園路等の散策路や町の名前の由来にふさわしい御影石の「石橋」を作り、「やすらぎ橋」として親しまれている。

さらに、ホテルの幼虫を放して、「ホテルの里」づくりを行い、町民のふれあいやすらぎの場を提供している。

### データボード③④

- ① 栃木県石橋町石橋760
- ② 石橋町役場 ☎0285-53-1111
- ③ 延長260m、池A：1,142㎡
- ④ 散策路、庭園、各種競技場、プール
- ⑤ ホテル放虫、産業文化祭「みんなの広場」